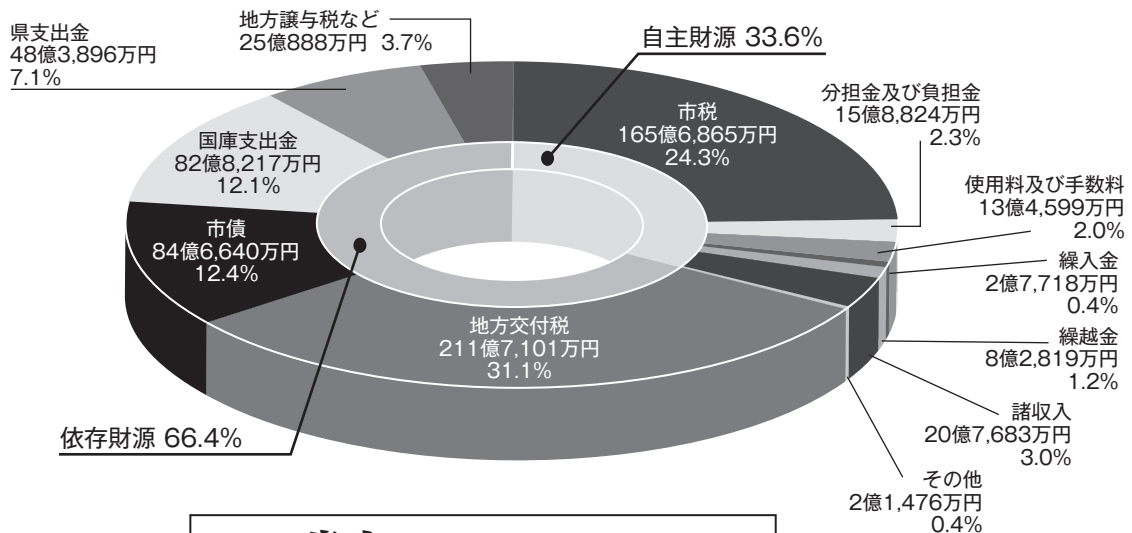


平成22年度 出雲市決算報告

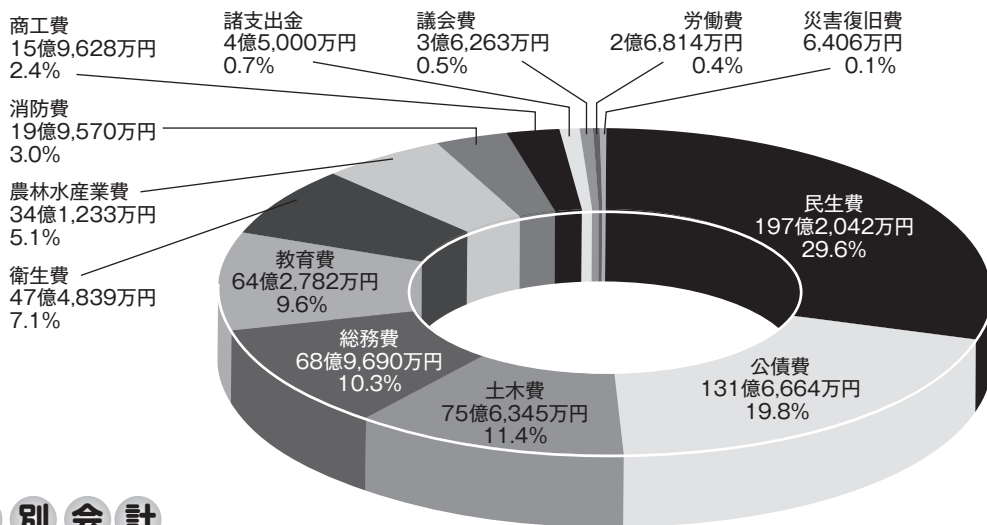
一般会計

歳入 681億6,726万円

決算についてのおたずねは
財政課 ☎21-6608



歳出 666億7,276万円



特別会計

| 会計名 | 歳入 | 歳出 |
|---------------|-------------|-------------|
| 国民健康保険事業 | 146億4,920万円 | 139億4,239万円 |
| 国民健康保険橋波診療所事業 | 1,141万円 | 1,004万円 |
| ※診療所事業 | 9,818万円 | 8,540万円 |
| 老人保健医療事業 | 824万円 | 824万円 |
| 後期高齢者医療事業 | 26億8,975万円 | 26億8,873万円 |
| 介護保険事業 | 118億7,487万円 | 118億4,421万円 |
| 簡易水道事業 | 22億 839万円 | 22億 779万円 |
| 下水道事業 | 55億1,415万円 | 54億8,825万円 |
| 農業・漁業集落排水事業 | 18億1,462万円 | 18億 783万円 |

| 会計名 | 歳入 | 歳出 |
|--------------|-------------|-------------|
| 浄化槽設置事業 | 1億4,591万円 | 1億4,591万円 |
| 風力発電事業 | 2,884万円 | 2,884万円 |
| ※ご縁ネット事業 | 9,215万円 | 8,753万円 |
| 企業用地造成事業 | 1,034万円 | 1,034万円 |
| ※駐車場事業 | 8,995万円 | 8,995万円 |
| ※住宅新築資金等貸付事業 | 312万円 | 252万円 |
| ※高野令一育英奨学事業 | 360万円 | 360万円 |
| 廃棄物発電事業 | 1,712万円 | 1,610万円 |
| 合計 | 392億5,984万円 | 384億6,767万円 |

企業会計

| 水道事業会計 (税込み) | 収益的収支 | 収入 | 24億1,337万円 |
|-----------------|-------|----|------------|
| | | 支出 | 21億9,412万円 |
| | 資本的収支 | 収入 | 9億9,075万円 |
| | | 支出 | 22億1,637万円 |

| 病院事業会計 (税込み) | 収益的収支 | 収入 | 23億2,221万円 |
|-----------------|-------|----|------------|
| | | 支出 | 26億5,272万円 |
| | 資本的収支 | 収入 | 24億5,209万円 |
| | | 支出 | 24億9,669万円 |

○収益的収支は、1年間の営業収支

○資本的収支は、設備投資などに伴う収支。収入不足額は、損益勘定内部留保資金等（積立金など）で補てんします

普通会計(注1)による決算状況

注1：普通会計とは、会計の組み方が自治体毎に異なるため統計的に財政比較が可能な仮の会計として用いられるものです。出雲市では一般会計のほか、右の特別会計のうち※印のある会計（駐車場事業は一部）を合算したものです。

◎歳入・歳出決算額

| 項目 | 平成22年度 | 平成21年度 | 増減額 |
|--------------|-------------|-------------|------------|
| 歳入総額 | 684億3,434万円 | 685億5,077万円 | △1億1,643万円 |
| 歳出総額 | 669億2,185万円 | 677億 632万円 | △7億8,447万円 |
| 歳入歳出差引 | 15億1,249万円 | 8億4,445万円 | 6億6,804万円 |
| 翌年度に繰り越すべき財源 | 2億3,420万円 | 1億 621万円 | 1億2,799万円 |
| 実質収支 | 12億7,829万円 | 7億3,824万円 | 5億4,005万円 |
| 実質単年度収支 | 7億8,521万円 | 5億 905万円 | 2億7,616万円 |

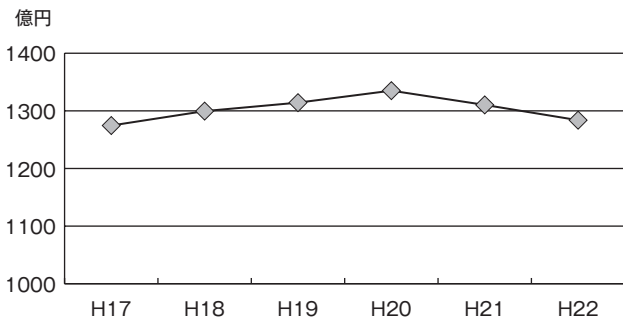
◎性質別歳出の状況

| 項目 | 平成22年度 | 平成21年度 | 増減額 |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 歳出合計 | 669億2,185万円 | 677億 632万円 | △7億8,447万円 |
| 義務的経費 | 346億2,783万円 | 324億7,681万円 | 21億5,102万円 |
| 人件費 | 101億3,155万円 | 103億7,988万円 | △2億4,833万円 |
| うち職員給 | 64億1,439万円 | 66億8,277万円 | △2億6,838万円 |
| 扶助費 | 112億8,638万円 | 91億1,863万円 | 21億6,775万円 |
| 公債費 | 132億 990万円 | 129億7,830万円 | 2億3,160万円 |
| うち繰上償還 | 2億1,983万円 | 1億5,856万円 | 6,127万円 |
| 投資的経費 | 86億2,577万円 | 117億2,230万円 | △30億9,653万円 |
| 普通建設事業 | 85億6,171万円 | 115億4,584万円 | △29億8,413万円 |
| 災害復旧事業 | 6,406万円 | 1億7,646万円 | △1億1,240万円 |
| その他経費 | 236億6,825万円 | 235億 721万円 | 1億6,104万円 |
| 物件費 | 89億3,197万円 | 91億5,326万円 | △2億2,129万円 |
| 維持補修費 | 4億 178万円 | 5億1,334万円 | △1億1,156万円 |
| 補助費等 | 35億1,577万円 | 44億6,577万円 | △9億5,000万円 |
| 積立金 | 11億2,670万円 | 8億2,360万円 | 3億 310万円 |
| 投資及び出資・貸付金 | 17億 419万円 | 12億4,074万円 | 4億6,345万円 |
| 繰出金 | 79億8,784万円 | 73億1,050万円 | 6億7,734万円 |

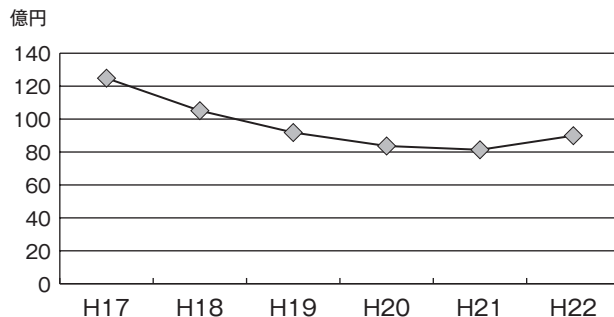
◎地方債・積立金現在高

| 項目 | 平成22年度 | 平成21年度 | 増減額 |
|-------------|---------------|---------------|-------------|
| 地方債現在高 | 1,283億8,068万円 | 1,310億3,213万円 | △26億5,145万円 |
| 積立金現在高 | 89億9,223万円 | 81億3,607万円 | 8億5,616万円 |
| 財政調整基金・減債基金 | 34億9,715万円 | 31億6,872万円 | 3億2,843万円 |
| その他 | 54億9,508万円 | 49億6,735万円 | 5億2,773万円 |

地方債現在高の推移



積立金現在高の推移



一般会計・特別会計監査委員の審査意見書から

起債の状況について

起債残高は、一般会計と特別会計を合わせて前年度よりも23億8千万円減少しています。内訳を見ると財政上有利な起債といわれる合併特例債や地方交付税の代替財源である臨時財政対策債がそれぞれ27億円増となったものの、その他の起債は大幅な減となつています。もちろん好ましい傾向ではありませんが、出雲市の起債残高は類似団体の平均値と比べても大きな開きがあり、引き続き起債の削減努力が必要と見られます。

今後の出雲市の財政について

単年度だけではなく将来を見据えた展望が必要であることは言うまでもありません。歳入の3割を占める地方交付税も、2市4町の合併から10年後の平成27年度からは段階的に減額されることとされており、今のうちから更なる大幅な歳出削減が必要とされています。磐石な財政基盤の確立を目指して、平成22年11月に「出雲市財政スリム化宣言」が発せられたところですが、職員一人一人が、我が家の家計の如く「もったいない」精神で、行政改革や財政改革に取り組んでいただきたいと思います。

【平成22年度決算の特徴】

グランドデザインに掲げる大型プロジェクト（新庁舎、博物館建設事業など）が終了したことに伴い、前年度と同様に歳出が減額となりました。また、地方交付税の伸びや行政改革の効果等により実質単年度収支も改善しました。

しかし、今後数年は借金の返済にあたる公債費の増加が見込まれること、そして平成27年度以降普通交付税が段階的に縮減される見込みであることから、財政の健全化を強力に推進する必要があると考えます。

普通会計決算概要及び監査委員審査意見書は、ホームページでご覧になれます。